

第 124 回 生物科学フロンティアセミナー
第 44 回 ケミカルバイオロジー研究所セミナー

T 細胞活性化に着目した CD28 ファミリー細胞内領域と アダプター分子との相互作用解析

織田 昌幸 先生

京都府立大学 生命環境科学研究科
応用生命科学専攻 生命物理化学 教授

日時：令和 4 年 10 月 31 日（月）午後 4 時 00 分より

場所： なかもずキャンパス A12 棟サイエンスホール

（事前参加申し込みは不要です。会場まで直接お越しください。）

T 細胞の活性化には、T 細胞受容体（TCR）の他に、CD28、ICOS、CTLA-4、PD-1 といった受容体を介するシグナルが関与する。各受容体の細胞内領域にあるチロシンがリン酸化され、同部位に、Grb2、Gads、PI3K p85 といったアダプター分子が、その SH2 ドメインを介して結合し、シグナルを伝達する。我々はリン酸化チロシンを含むペプチドと各種 SH2 との複合体の結晶構造解析に成功し、各結合の制御化合物の探索も進めている。

世話人・連絡先 中瀬 生彦（大阪公立大学 大学院理学研究科 生物化学専攻）

大阪公立大学 研究推進機構 ケミカルバイオロジー研究所

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1

TEL/FAX: 072-254-9895

E-mail: i-nakase@omu.ac.jp